

庄内町保健医療福祉推進委員会議事録

- 開催日時：令和3年11月25日（木）午後2：00～3：35
- 場 所：庄内町役場 B 棟 2階 会議室 1
- 出席委員：遠田三一、秋庭道雄、庄司武晴、鎌田剛、水尾良孝、鈴木愛、工藤むつ子、高橋大輔
- 欠席委員：菅原源也、齊藤学、相田健治、菅原みつ子、奥山賢一、成澤かほる
- 事務局：鈴木保健福祉課長、永岡課長補佐兼福祉係長、阿良主査兼高齢者支援係長丸山主査兼介護保険係長、齊藤主査兼健康推進係長、長南主査、佐々木主査

内容は次のとおり

- 1 開会 進行 保健福祉課長 資料確認
- 2 諮問 町長より水尾委員長に諮問
- あいさつ 町長

冬前のあられの季節になった。第3期庄内町地域福祉計画について諮問させていただいたが、地域福祉は多岐にわたる。委員の皆様それぞれの立場で、豊富な情報量や日頃から培っているノウハウを活かし、町民の福祉の向上のため忌憚のない御意見をいただき、より良い町づくりに議論を尽くしていただければありがたい。地域福祉計画についての審議をよろしくお願いしたい。

- 3 あいさつ 水尾委員長

新型コロナウイルスの感染状況は、落ち着きが見られるようになったが、ワクチン接種をはじめ町民のコロナ対策や医療機関との連携、経済対策など様々な対応に尽力されている町当局に感謝申し上げます。只今、第3期庄内町地域福祉計画策定について諮問を受けましたが、今回を含めて2回の開催となっている。この後の議会やパブリックコメント等、日程面で制約があるので、委員の皆さんの格別の御理解と御協力を賜りながら、答申できますことをお願い申し上げます。本日はよろしくお願ひしたい。

- 4 協議及び報告 座長 水尾委員長

- (1) 第3期庄内町地域福祉計画（案）について 永岡補佐説明 資料1
委員長 計画案がボリュームあるので、分けて意見や質問を受けたい。前半の第1章～第2章について御意見・御質問はどうか。

委員：(P.14) 地域包括支援センターの相談件数について。文章では年々相談が増加傾向にあると書いてあるが、表を見ると数は減っている。経年的にも減少傾向にあるようだ。表にあった文章表現にする方が良いと思った。

(P.15) 障がい者数が若干減ったり増加したりだが、次の16ページの表ではほ

ば横ばいに見える。人口が減っているのに割合にすると少し増えているのかもしれないが、人数で“増加”“減少”と表現するには差があまり感じられない。
(P.21) 生活保護の状況について。表に保護率とあるが、意味は？また、表の単位表記が“人/世帯”と書いてあるが、世帯数は数で、受給者数は人が単位と考えるが、この単位表記がわかりにくいので教えてほしい。

事務局 (P.14) については、地域包括支援センターの余目と立川で相談件数のとりまとめが違っていたので、件数を修正した経緯がある。感覚的に相談が多かったという評価だったが、内容や件数においては、数値や現状との差が出てしまうので、文章表現を検討したい。

(P.15) の障害者数については、その年によって増減があるので、表の数値に合わせて文章記載を検討したい。

(P.21) の保護率は庄内総合支庁（県）の数値を用いたものだが、出典元を記載しないでしまった。保護率は人口に対する保護受給者の割合を示したもの。同じように“人/世帯”と単位を記載した個所が P.17 にもあるので、併せてわかりやすい単位表記としたい。

委員長：P.5 の計画の位置づけの後段に、庄内町社会福祉協議会の「庄内町地域福祉活動計画」を「庄内町地域福祉計画・庄内町地域福祉活動計画（第3期）」として一体的に策定するとあるが、町の地域福祉計画と両計画の整合性を図るという必要性から並行して策定する必要があると考える。本日、社会福祉協議会会長が欠席されているが、その策定状況について把握しているか。

P.27 (4) ②災害対策基本法の改正を受けて、避難行動要支援者の個別計画の作成が義務付けられた。従前は避難行動要支援者登録制度で取り組んできたが、当初の計画では民生委員・児童委員や自治会長に8月頃にまでに配布して情報共有すると聞いていたがどうなっているか。

事務局 社会福祉協議会でも地域福祉活動計画を策定している。今回、この地域福祉計画原案を社会福祉協議会に提供しているので、社会福祉協議会でどこまで進んでいるか、この会議の後も確認しながら進めていきたい。

災害時の台帳の件は、当初は8月～9月には配布予定だったが、法改正を受けて台帳だけでなく対象者名簿に同意者名簿を新たに作成する作業に時間がかかってしまった。最近、依頼した業者から届いたところなので、今月中に配布できるよう準備を進めている。今しばらくお待ちいただければと思う。

委員長：では後半の第3章～第5章について御意見・御質問はどうか。

委員：P.40 (5) ボランティア団体、NPO 法人…の記載で、最後から2行目に民間事業者の役割として“技術などを活かした奉仕活動”とあるが、表現が古い感じがある。“技術やサービスを活かして地域課題に取り組む”としたらどうか。

事務局 そのように修正させていただく。

委員：第4章の基本目標の実現のための具体的施策のところ、住民が行う具体的な取組について“〇〇するように心がけましょう”とか“意識してみましよう”、“イメージしてみましよう”等やんわりとした表現にしたと考えられるが、具

体的な取組内容に対して表現がふわっとし過ぎていると感じられる。もっとしっかり伝える表現にしても良いのではないか？

事務局 文章にすると強制的に感じられないよう、柔らかい表現にしたもの。伝わりにくいとしたら、伝わりやすくてやんわりした表現を検討したい。

委員：現在、民生委員 69 名、8 名が欠員の状況だが、地域住民へのサービスという観点からすると、不在地区はサービスに遅れをとっているとも言える。早めの補充ができる方向をお願いしたい。（要望）

事務局 民生委員の欠員 8 名については、12 月に 1 名に委嘱、他にも 1 名推薦をお願いする方向で準備を進めており、少しずつ欠員解消に努めている。来年の 11 月で今の民生委員の任期が終わり、12 月からまた新しくスタートするが、来年の体制は（人数を減らしてでも）地域を割振りし直して欠員が生じないような体制づくりの検討もしていければと考えている。

委員長：今、テレビ CM でも流れているが、ずっと変わらずに来た民生委員・児童委員の制度も、改革や実態に合ったものに見直す時期に来ているのではないかと感じている。例会等で事務局と協議会と連携を図りながら、実態把握に努め、改善できるものは次回からでも改善が図られるよう要望したい。

委員：地域活動とボランティア活動の境界は曖昧だが、違うものとして書かれている。地域活動とは自治会等地域運営組織が行う活動、ボランティアは NPO やボランティアサークル等が行う活動、と解してよいか。（事務局、うなづく）気になった箇所として P.32 中段、“健康づくりや介護予防につながる地域活動への高齢者の積極的なボランティア参加…”について、地域活動とボランティアの似た表現がわかりにくく二度読みしてしまった。

事務局 表現について検討したい。

委員：P.32～33 にかけて、“助成に取り組む”とあるが、その助成範囲と内容は？

事務局 先ほども説明で申し上げたが、“支援”の表記誤りで修正したい。社会福祉協議会や民生委員等の活動については補助金を出してお願いしている。今後、他にも必要な事業があれば他団体等にも委託することも考えられる。

委員長：P.29、1 (4) “住民”の生きがい…とあるが、文章では“町民”となっているので、統一した方が良いのでは？

事務局 そのように修正したい。

(2) 令和 2 年度分第 7 期介護保険事業計画 取組と目標に対する自己評価シート総括表及び地域分析について

丸山主査兼介護保険係長、阿良主査兼高齢者支援係長、説明 資料 2

事務局 委員の皆さまのご意見をいただきたいものとして、特に①P.6 自立支援・重度化防止に向けた介護予防の推進の（中段）記載の目標について。現状として令和 2 年度はいきいき百歳体操などの新規立上げはなく、通いの場の参加者数はのべ 506 人、活動場所は 28 か所だった。（前回 7 月の委員会時に一般介護予防事業評価事業として資料に掲載済）参加者 506 人のうち 2 年以上継続して参加

した方 15 人について体力測定した結果、93.3%が維持・改善しているとの回答だった。地域の通いの場の構築支援については、今後も継続支援の方向だが、ウィズコロナの中での活動を今後も広めていくためにどのような方法が望ましいか、好事例等あれば、委員の皆さんに御教示いただければありがたい。

また②P. 10 認知症総合支援策の推進について、実績評価は記載のとおりだが、今年度は認知症カフェや物忘れ相談会を月 1 回開催している。認知症支援推進員からも認知症の方から御意見を聞いてまとめていただく方向で活動している。今後も認知症は大きな課題と考えられ、いろいろな場所で認知症や家族が相談しやすい体制づくりを進めるにあたり、これまでやってきたことでどのような点を強化したらよいか、御意見やアドバイスをお願いしたい。

最後に③P. 12 医療と介護の連携推進についても、医療圏も北部と南部にまたがっているという現状もあり、今後どのような方向で医療と介護の連携を進めたら良いか委員の皆さんから御意見や、好事例等ご存じであればアドバイスをお願いしたい。

委員長：今日この場でご意見というのは難しいと思うが、これらの課題について今後の委員会の場を通じて、また課の中でも様々な支援策のあり方等について、介護事例も含めて調査いただければと思う。コロナで一番影響を受けている部分と思うが、従来通りの継続が難しくなったが、リモートや IT を活用した方法も考えられる。本日は時間の制約があるので、この次の機会に御発言いただければ。

事務局 そのようにさせていただけるとありがたいので、よろしく願いいたします。

(3) その他

新型コロナウイルスワクチン 3 回目接種について追加資料により保健福祉課長説明。

委員長：交差接種はどうか？

事務局 国から配送されてくるワクチンを使用するので、町が選ぶことはできない。今のところは、ファイザーとモデルナの両方が送られてくると考えられる。

委員長：町民が不安にならない情報提供をお願いしたい。

5 その他

保健福祉課長：次回の開催について、1月21日この同じ会場で予定。

事務局 地域福祉計画について。今後の委員会が 1 回なので、本日いただいた御意見を元に訂正したものを皆さんに後日お送りしたい。その際、“質問票”を同封するので、FAX やメールで御意見があればいただき、訂正したものを次回の委員会にお示ししたいと考えている。委員の皆さんからの御理解と御協力を今後ともよろしく願いします。

6 閉会 保健福祉課長